

蒲田東特別出張所管内			★発行 地域力推進 蒲田東地区委員会
人 口	男 24,095名		★編集 地域情報紙「かまた東」 編集委員会
	女 22,080名		★事務局 蒲田東特別出張所 蒲田本町2-1-1 Tel (5713)2001
	計 46,175名		
世帯数	30,061世帯		
令和6年1月1日現在			

日頃から良く耳にする役割名ですがその活動内容については知らない人が多いようです。今回は蒲田東地区の民生委員児童委員(以降「民生」)、地域包括支援センター(以降「包括」)に声をかけ座談会を開催し、その内容を編集委員会でまとめました。(出席者は欄外参照)

民生委員児童委員って？

民生は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の特別職の地方公務員で、社会福祉の増進や地域の見守り、福祉全般に関する相談・援助等を行います。ボランティア的要素があり、給与は有りません。地域住民が安心して相談できる民生であるために、「守秘義務」という重要な義務があります。住民が困った時に相談を聞き、必要に応じて民生から包括、地域福祉課、生活福祉課、JOBOTA



民生委員児童委員の皆さん

(生活再建・就労サポートセンター)、子ども家庭支援センター、子ども・若者総合相談センターなどの組織、団体、機関へと繋ぐ繋ぎ手としての役割があります。

民生は町会から推薦されますが、町会単位の配置ではなく、担当区域をもって活動しています。都の基準では、220～440世帯に1名が望ましいとされますが、民生の選任がない町会の範囲を代行もします。世帯数による縦割りです。自らの担当地域以外の場合でも、横の繋がりで相談も出来ています。年齢制限は現在75歳まで活動することができますが、人数が足りない現実があり、新しい仲間を望んでいます。

民生は、出生時からの赤ちゃん事業や、小学校・中学校・高校の登校拒否や進学等の相談、社会福祉協議会からの融資を受ける／受けないの相談にのることもあります。又、様々な証明手続き、高齢者や障害者等の見守り、学校イベントのお手伝い、お祭りの手伝い等、地域とのコミュニケーションを取るのも民生の仕事です。訪問も重要な業務の1つですが、声をかけても返事が無い時もあります。高層マンション、オートロックの建物が増え、声をかけるにもかけられない現実が今、民生を泣かせています。

民生のスローガンとして「調査なくして訪問なし、訪問なくして相談なし、相談なくして福祉なし」という力強い言葉の中に責任と覚悟がみえます。編集委員はこれだけ幅広いお仕事をされていることに驚きました。民生は新しい仲間を望んでいます。どうぞ声をかけられたときは快く引き受けて頂きたいと思います。

地域包括支援センターって？

包括は介護保険法の改正に伴い平成18年から創設されました。大田区内には23箇所の拠点があります。この蒲田東地区内においては、包括蒲田(北蒲広場のそば)と包括蒲田東(ニッセイアロマスクエア1階)の2箇所があります。住所により高齢者サービスの登録先は決まっておりますが、どちらのセンターでも親切に案内してくれます。



地域包括支援センターの皆さん

主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・経験がある看護師の有資格者を中心に、其処の担当地域の65歳以上の総合相談窓口になっています。地域にお住いの高齢者やその家族から介護、福祉に関する総合的な相談を受けています。

見守りキーホルダーって？

大田区では見守りサービスの1つとして、見守りキーホルダー登録事業があります。こちらは、包括が担当しております。大田区内の65歳以上の方が、緊急連絡先や医療情報等を登録すると「高齢者見守りキーホルダー」を貰えるそうです。緊急時の医療機関や警察、消防からの照会に24時間体制で迅速に対応でき、忘れ物の問い合わせにも役立つというので、普段持ち歩くものにつけるのもおすすめです。



お持ちでない方は、是非ご登録してみては！
(3面へ続く)

【座談会参加者】大田区蒲田東地区の民生委員児童委員(植田会長、三浦副会長、遠藤副会長、土屋副会長)、

地域包括支援センター蒲田(菅野センター長、林社会福祉士)、地域包括支援センター蒲田東(小池センター長、渡部社会福祉士)



北蒲広場(旧北蒲小学校)の思い出

蒲田二丁目自治会
鈴木 純子

蒲田二丁目にある北蒲広場。元は、北蒲小学校と呼ばれた私の母校です。

そして、また、子ども達の声が聞こえる場所となれば、北蒲広場も喜んでくれるかもしれせん。

お花見会開催

蒲田本町二丁目
水沼 保治

一年生の入学式は、三月に落成したばかりだった体育館で行いました。一・二年生は木造の旧校舎で過ごしました。三・四年生は、校舎建替えのため、家庭に建ったプレハブの教室で勉強をしました。この二年間は、給食ではなく、お弁当持参で通学し、工事の進捗具合によって入口も色々変わり、面白かったことを覚えていきます。五年生の二学期に現在の校舎に入り、卒業しました。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せて、行動制限のない中、二〇一九年以来四年ぶりの開催となったお花見会。

以前、桜と云えば四月の入学式でしたが、今では卒業式のイメージとなっている。このように、開花のタイミングを計れなくて、開催日を決めるのが難しかったため、参考にしたのが、東京都の桜開花予想。そこでは三月二十一日頃開花とありましたので、次の日曜日である二十六日に決めた。しかし、暖かい日が続いて開花が三月十四日と早まり、空を見上げて、開花状況や天候を気にする日々が続きましたが、ちょうど満開のタイミングで開催を迎えられそうでした。しかし、開催日にかけて、雨の予報が出てしまった。

新型コロナウイルスの感染再拡大の心配と、年度末、確定申告と気忙しかったことに加えて、自身の入院五日前でしたので、精神的にとっても厳しかった。桜は満開の見頃だったけれども、結局雨が降ってしまい、町会会館での開催となりました。

プラの日

蒲田五丁目南町会
森野 義男

「プラの日」をご存知ですか？区内の一部地域では既に昨年から試験的に実施されていますが、近年中に区内全域でも「プラの日」が実施される模様です。プラスチックで出来ている物をゴミに出すにあたり、可能な限り綺麗な状態に分別して、「プラの日」に出すこととなります。ペットボトルは「資源ゴミ」ですが、ラベルやキャップは「プラ」になります。発泡スチロールやトレイもプラになり、出し方としては、全てのプラをまとめて、中身が見える袋に入れて出します。水で洗浄しても汚れや油が落ちない容器は可燃ゴミです。汚れたプラは、綺麗なプラをも汚し、リサイクル出来ない場合があるためです。

南一自治会は御長寿が勢揃い

南蒲田一丁目自治会
大脇 多恵

資料によると、大田区で百歳以上の方は五百十七名(二〇二三年九月時点)。蒲田東の管内でも二十七名が御健在で、南一自治会も御長寿揃いです。



横山ハヤ子さん104歳

では、食品の店をご夫婦でやられていました。同じく九十九歳の須山重信さんも長い間文具店を経営されていました。群馬出身の赤城千枝さんは、九十八歳。蒲田在住五十年。草月流の生け花の先生の資格も。我が家の義母、大脇ヨシさんも九十八歳。趣味は、三味線。四世代で暮らしています。北田きみさんは九十七歳。千葉出身。梅干が元気の素。皆さん百歳越えを目指し、お健やかに！

不思議なひととき

東蒲田一丁目自治会
二瓶 敏明

昨年、東蒲田一丁目自治会のシニアクラブ(清寿会)主催のグラウンドゴルフに夫婦で参加させていただいています。このクラブは週三日、火曜と木曜は北蒲広場、土曜は東蒲小学校のグラウンドを借りて、午前九時から十時半位まで行っています。参加の皆さんは年齢を感じさせない元気な方ばかりで、グラウンドゴルフの日を楽しみにしているようです。自分でスコアカードに何打で廻ったかを記入するため、常に忘れないように頭を使っています。声をかけながらほどよく歩いてゴルフ

わが子も通った北蒲小学校。蒲田小学校に統合され、閉校となりましたが、広場の建物は、可能な限り残って欲しいと思います。

雨の予報が出てしまった。

回収されたプラは選別され、汚れてリサイクルに適さないものは、清掃工場に送られます。綺麗なプラは、リサイクル施設でペレット等の原料化の後、プラスチックの再利用や化学原料として再利用されます。可能な限りゴミを排出しない生活様式への転換を進めるため、発生抑制と再利用を今から習慣づけることが求められております。私たち区民も区の活動を応援していきましよう。

まずは、横山ハヤ子さん(一〇四歳)。蒲田小学校では、女優の高峰秀子さんとも同級生だったとか。ジャズ好きで銀座まで聴きに行かれたことも。次は、伊豆出身の清水光子さん。九十九歳。二十年ほど前ま

をすることで、体の健康維持と脳の老化防止にもなります。

ゲームの合間に休憩するとき、それぞれがたわいのない話をしたりして盛り上がりつつあります。そんなゆったりとした時間の中にいると、ふと、何も考えず無邪気に遊んでいた子供の頃に戻っていきような、不思議なひとときを感じます。

夫婦で少しでも長く皆さんと楽しく続けていけたら何よりだと思っっています。

まちかど防災訓練

蒲田三丁目町会

高橋 康之

いよいよ本番、隊長の顔が心なしか引きつって見える。そう！今日は『まちかど防災訓練』当日。数回の打合せ先週のリハーサル、隊員達のイメトレも完璧・なハズ。蒲田消防署管内数ある町会自治会で初となる今回の防災訓練に緊張は高まる一方。署の担当から訓練開始の目配せと共に、俄仕立ての通報者が隊長に駆け寄る。そこから先はリハ・もとい日頃の訓練のお陰で体はテキパキと動き出す。

最後の署長講評で二百点を頂いた事は三丁目市民消防隊の更なる励みとなるであろう。東蒲田一丁目町会 落合 一男



わが町の星 市民消防隊

地域デビュー

東蒲田一丁目町会

落合 一男

東蒲田一丁目目で生まれ育ち、七十四年です。駅に近く便利で庶民的な町、やはりここが一番住みやすいと思うこの頃です。思えば健康に恵まれ四十九年間、某総合エンジニアリング会社で働くことができました。又、共に歩んでくれた妻には本当に感謝しています。余談ですが、今年四月に金婚式を迎えます。

このない我々日本人は、隠れてこっそり食事をしたことを思い出します。定年後は趣味の写真撮影、花づくりを楽しんでいます。また、二年前から町会のシニアクラブの東蒲梅寿会で会計役員を引き受け、少しでも地域の役に立てよう精進してまいります。大蒲田祭について 赤沢 伸吾

蒲田東口町会

赤沢 伸吾

今年四年ぶりに大蒲田祭が開催されました。開催においては祭礼委員会が設置され、それぞれ役割分担が行われました。委員会の指示のもと何百人もの人達が同時進行で各役割ごとに準備し、打ち合わせを行います。祭礼一日目は子供神輿です。ほとんどぶら下がりが状態でしたが、神輿を担ぎ、山車を引き街を練り歩きました。汗だくになりながらもスマホでわが子を撮影するお母さんたちが印象的でした。

となりました。各団体のご協力のもと、これだけ盛大なお祭りができたことは素晴らしいと感動しました。敬老の日について 東蒲田二丁目町会 村上 すい子

東蒲田二丁目町会

村上 すい子

九月十八日は敬老の日ですが、私達の町会では、例年、蕪田神社の祭礼と重なるので、十月に改めて「敬老の日つどい」を実施します。今年も十月二十二日、東蒲小学校の講堂で、百三十七名の「敬老のつどい」がありました。半数ほどの出席でしたが、小学校の生徒さんのダンスから始まり、踊りや歌、落語もあって、楽しいひとときを過ごしました。時計の針とかけっこしてきたような昭和の時代を生き抜いて、いつの間にか後期高齢者になってしまいました。友人と集まっては、若く、美しく、輝いていた昔のことを語り、笑って過ごすこの頃です。戦争での苦労話は、人生の糧になりました。苦労は人の心を優しくしてくれます。近所の友人や老人会の皆さんと出会えたことは、大きな力となりました。これからの日々も、前向きに明るく過ごしていきたいと思えます。「高齢者に幸あれ」

(1面より続く)

民生委員児童委員に相談したい方は、町会・自治会の役員の方に聞けば地域の担当者を教えてくれますが、個人的なことで窓口等に相談されたい方は、区役所の福祉管理課、又は、地域包括支援センターに連絡することで、教えてもらえます。まずは相談からです。

編集委員長 山崎 礼子

高齢者見守り キーホルダーの詳細はこちら⇒ 

民生委員 児童委員の詳細はこちら⇒ 

地域包括支援センターの詳細はこちら⇒ 



リーダー19

会長大いに語る 第十一回

東蒲田二丁目南町会長

鈴木 孝雄



私が町会長になってから約十年が経ち、町会役員としては通算約四十五年になります。

東蒲田二丁目南町会は、町会員の皆様方のおかげで、昨年創立七十周年を迎えました。また、私が町会に住み始めたのは昭和二十三年頃で、初代町会長は永田惣二郎会長でした。

私が小学生の頃、呑川の天神橋は木造で、町内には畑や町工場等が点在し、町会に接するキネマ通り商店街には多くの商店が立ち並び、人通りも多く賑やかな商店街でした。また、昭和三十三年には旧呑川を埋め立て、一部を利用して東蒲中学校がこの地に移転しました。この頃は、町内の近所付き合いも良かったことを思い出します。

平成以降では町工場、商店も減少し、跡地にはアパートやマンションが建ち、キネマ通り商店街も人通りが少なくなってきました。

梅祭り、お花見、夏には盆踊り、お祭りでは昭和五十三年に町会員の皆様、及び齋藤木工様、三部江川様、五部菅原様と私の四人が中心となって製作した神輿で町内を練り歩き、キネマ通りのパレードにも参加し、暮れには餅つき大会なども行いました。

他に子供達との触れ合い行事として凧揚げ、海や山へのハイキング、芋堀りも行いました。



神輿の制作風景

現在、少子高齢化や住民の価値観の変化の波は町会にまで及び、以前ほど頻繁に町会行事を行うことが出来なくなりました。さらにこの三年間は、コロナ禍に追い打ちを掛けられ思うような活動が出来ませんでした。

地域コミュニティの中核としての町会活動が、地域住民にとってどう役立っているかを検証しながら、今後の町会活動を進めたいと考えております。

蒲田の「やっちゃん場」

編集委員 佐藤 慎一郎

「やっちゃん場」と言う名称をご存知だろうか？青物市場の事を東京では「やっちゃん場」と言います。市場の競り(せり)で飛び交う言葉が「やっちゃん、やっちゃん」と聞こえたからと言われています。



蒲田青果市場

東京の三大「やっちゃん場」は神田、千住、駒込に在りましたが、他にも近郊に私設の小さな市場が点在していたと思われる。現在の大田区辺では下丸子、池上村、矢口村で葱、ほうれん草、茄子、小松菜等々が採れま

した。野菜の生産地域と消費地域が混在・隣接し、私設の青物市場が生まれましたが、昭和十二年(一九三七) 東京都中央卸売市場荏原市場に統合され蒲田分場となりました。

十三年(一九八八)に市場棟を竣工。翌、平成元年(一九八九)五月に業務を開始しました。今日その取扱量は「日本一」と言われる程になっています。



右図 現在の大田区産業プラザ P i O 周辺

執筆にあたり蒲田分場内で食堂を営み、現在も東海の市場内で食堂「鈴富」を営む鈴木安子様には快く取材をお受け戴き厚く御礼申し上げます。

東京中央卸市場「荏原分場」			
西暦	昭和	沿革	世の中では
1935年	10年	東京中央卸市場 荏原分場開設(五反田)	2.26事件
1936年	11年	蒲田配給所設立	統制時代に入る
1940年	16年	青果物配給統制公布	太平洋戦争
1945年	20年	青果物統制規則撤廃 戦後の混乱時に北蒲小の地に市場ができたようである	敗戦(終戦)
1947年	22年	東京荏原青果株式会社開設	
1966年		蒲田分場(大森、矢口統合) 現在のピオの地に出来た	東京オリンピック
1989年	平成元年	大田市場開場(荏原、蒲田) 東海3丁目に移転	年号が平成へ

編集委員紹介

編集委員長

蒲田三丁目町会

山崎礼子

副編集委員長

蒲田一丁目自治会

杉山敬次郎

編集委員

東蒲田二丁目町会

笠原信子

東蒲田二丁目自治会

田村和夫

東蒲田二丁目町会

阿相祐太郎

東蒲田二丁目南町会

塩野賢一

南蒲田二丁目自治会

大脇多恵

南蒲田二丁目町内会

高田和男

南蒲田三丁目町会

秋成京子

蒲田二丁目東町会

鴨井從雄

蒲田二丁目自治会

菊地規起

京浜蒲田町会

加藤郁夫

蒲田四丁目町会

小倉孝子

蒲田本町二丁目町会

遠藤末子

本蒲田二丁目町会

鈴木寛規

蒲田東口町会

赤沢伸吾

蒲田五丁目南町会

佐藤慎一郎

蒲田公団自治会

岡崎幸夫

蒲田本町一丁目町会

福島麻美子

